ともに挑む。ともに実る。
MIZUHO みずほ銀行

みずほCustomer Desk Report 2024/05/08 号(As of 2024/05/07)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
				公示仲値	154.07
TKY 9:00AM	154.25	1.0769	166.08	1.2560	0.6624
SYD-NY High	154.74	1.0787	166.57	1.2568	0.6649
SYD-NY Low	153.88	1.0748	165.67	1.2501	0.6587
NY 5:00 PM	154.69	1.0755	166.36	1.2510	0.6598

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,884.26	31.99	日本2年債	0.2700%	▲0.0100%
NASDAQ	16,332.56	▲ 16.69	日本10年債	0.8700%	▲0.0300%
S&P	5,187.70	6.96	米国2年債	4.8294%	▲0.0022%
日経平均	38,835.10	599.03	米国5年債	4.4719%	▲0.0141%
TOPIX	2,746.22	17.69	米国10年債	4.4600%	▲0.0264%
ｼｶｺﾞ日経先物	38,735.00	▲ 170.00	独10年債	2.4190%	▲0.0555%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	8,313.67	100.18	英10年債	4.1250%	▲0.0980%
DAX	18,430.05	254.84	豪10年債	4.3730%	▲0.0280%
ﾊﾝｾﾝ指数	18,479.37	▲ 98.93	USDJPY 1M Vol	8.73%	▲0.23%
上海総合	3,147.74	7.02	USDJPY 3M Vol	9.21%	▲0.14%
NY金	2,324.20	▲ 7.00	USDJPY 6M Vol	9.47%	▲0.04%
WTI	78.38	▲ 0.10	USDJPY 1M 25RR	▲0.66%	Yen Call Over
CRB指数	289.57	1.97	EURJPY 3M Vol	8.77%	▲0.18%
ドルインデックス	105.41	0.36	EURJPY 6M Vol	9.13%	▲0.13%

【昨日の指標等】

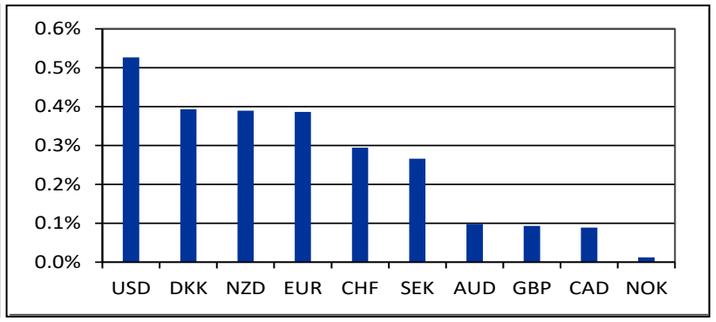
Date	Time		Event		結果	予想
5月7日	13:30	豪	RBAｷｬｯｼｭﾚｰﾄ	7-May	4.35%	4.35%
	15:00	独	製造業受注(前月比)	3月	-0.4%	0.4%
	18:00	欧	小売売上高(前月比/前年比)	3月	0.8%/0.7%	0.7%/-0.2%
5月8日	00:30	米	カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	「現行の金利を長期間据え置く可能性が非常に高い」		

【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
5月8日	15:00	独	鉱工業生産(季調済/前月比)	3月	-0.7%	2.1%
	23:00	米	卸売在庫(前月比)・確報	3月	-0.4%	-0.4%
5月9日	00:00	米	ジェファーソン・FRB副議長 講演		-	
	02:30	米	クック・FRB理事 講演		-	

【ドル円相場】

【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	154.10～155.80	1.0720～1.0780	165.50～167.00

東京	東京時間のﾄﾞﾙ円は154.25ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。日経平均株価の大幅上昇にもｻﾎﾟｰﾄされﾄﾞﾙ円は底堅く推移。仲値付近にかけ154円台を割れる場面もあったが、その後持ち直すと154円台半ばまで上昇。結局、154.47ﾚﾍﾞﾙで海外時間に渡った。
ロンドン	ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、154.47ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。経団連会長が円安について発言する中で153.98まで売られる場面もあったが、程なくして切り返すと154.53ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。
ニューヨーク	連休明けの東京市場では、日経平均株価の堅調な展開を受け、円売りが優勢となり、154.65まで上昇。しかし、その後は米金利が低下する動きに追随し、153.98まで反落。売り一巡後は再び買い戻され、154.53ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。午前中は154.24まで下落する場面もあったが、その後にｶｼｭｶﾘ･ﾐﾈｱﾎﾟﾘｽ連銀総裁が「現行の政策金利を予想以上に維持する可能性が高い」、「必要に応じて利上げの可能性もある」との見方を示すと、ﾄﾞﾙが買い戻され、154.50付近まで反発。午後に発表された米3年債の入札結果は堅調だったものの、ﾄﾞﾙ買いの流れが続いたことから、154.74まで上値を伸ばし、その後154.69ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。 一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.07台半ばでｽﾀｰﾄ。独3月製造業受注が予想より悪化した結果や、独長期金利の低下を受け、上値重い推移が続き、1.0767ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。午前中は米金利が低下する動きがｻﾎﾟｰﾄとなり、1.0787まで上昇。しかしその後は伸び悩むと午前中の上昇分を無くし、午後も米金利が高水準で推移する展開を受け、1.0748まで続落し、1.0755ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。

【マーケット・インプレッション】

本邦連休明けとなる昨日のドル円は買い先行し154円半ばへ上昇。夕刻、「植田日銀総裁が首相官邸入りし、岸田首相と意見交換」との報道が入ると、153.98レベルまで下落する場面があったが、その後植田総裁が「円安で今後基調的物価情勢にどういう影響が出てくるか注意深く見ていく」とコメントし、円安について踏み込んだ発言がなかったことで円売りが再加速した。さらにNY時間にカシュカリ・ミネアポリス連銀総裁(投票権なし)が長期間にわたる政策金利据え置きの可能性を示すと、米金利の持ち直しに連れ、ドル円は154.74まで上昇する展開となった。

本日ドル円は続伸を予想。本日17時半より植田総裁が読売国際経済懇話会にて講演を行う予定であり、基本的には日銀会合後や昨日首相との意見交換後のコメント以上の内容はないものと考えられ、スタンス不変で円売りが加速する可能性がある。直近、イエレン財務長官の介入けん制発言や介入実弾余力という当局の足元をみる向きからも円売り抑制は低下しつつあるため、再び155円を試す展開をみておきたい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:上遠野・鈴木